

普及活動情勢報告（令和４年８月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

安定した収量確保へ向けた栽培管理を指導！ ～ＪＡ高知県長岡園芸部土佐あまとう部会～



初期の苗管理が重要です！

７月20日、ＪＡ高知県長岡園芸部土佐あまとう部会が勉強会を開催し、生産者４名が参加しました。

農業改良普及課からは、今作の栽培経過より、温度やかん水、仕立て管理等について指導しました。

生産者からは、「異なる仕立てによる生育の違いに興味がある」「施肥量を減らせられるか検討したい」といった声があり、次作の取組について要望が出されました。

農業改良普及課は、今後もＪＡと協力し、生育及び収量・品質の安定を目指した支援に取り組めます。

農福連携の取組に向けて ～支援制度について学びました～



作成した作業動画を紹介

７月21日、農福連携研修会を開催し、南国市、香南市、香美市及び県の福祉や農業関係職員22名が出席しました。

研修会では、福祉や農業の分野で活用できる補助事業や支援制度について、県の担当課から説明を受けました。

農業改良普及課からは、マッチングの手段として作成したピーマンの定植の作業動画を紹介し、出席者から「定植の深さ、支柱の角度はどれくらいか」「一連の作業が分かるように撮影してはどうか」など、具体的に提案していただきました。

今後も、農業現場の課題である労働力確保対策として、農福連携の取組を推進していきます。

～「匠の会（究極を目指す人が集う会）」の勉強会～



勉強会の様子

８月４日、ＪＡ高知県南国営農経済センターで「匠の会」の勉強会が開催され、生産者６名が参加しました。

農業改良普及課は、「所得アップのために」と題して、①経費に見合う収量アップ②早期の病害虫防除対策③データ駆動型農業について説明しました。これを受けて参加者は、資材・肥料・重油等の高騰対策について話し合い、対策として、年内収量アップや規模拡大、雨よけ栽培導入、肥料形態の変更などの意見が出されました。また、「今後は現地巡回も行い、栽培のモチベーションを上げていきたい」という意見もありました。

農業改良普及課は、今後も引き続き意欲の高まる農業を支援していきます。

”夜須のエメラルドメロン” ってどんなメロン？～G I 意見交換会を開催～



メロンの検品作業を確認する参加者

7月29日、J A高知県香美地区園芸部メロン部会夜須支部にて、農林水産省G I 担当者や生産者、J A担当者、農業改良普及課計10名の参加のもと、「夜須のエメラルドメロン」のG I 登録に向けた意見交換会を開催しました。

出荷調整作業や検品作業を見学した後、当地区のメロン栽培の特徴や出荷規格、G I 登録申請の必要事項などを確認し、意見交換を行いました。

農業改良普及課からは、県下の気象条件や栽培概要について補足説明などを行い、農林水産省G I 担当者は「夜須のエメラルドメロン」の特性について理解を深めていました。

農業改良普及課では、引き続き「夜須のエメラルドメロン」のG I 登録と生産安定への取り組みを支援します。

農業基礎講座を開催しました。～夏こそ座学だ！～



農業基礎講座の様子

7月20日及び8月4日に中央東農業振興センターにて農業基礎講座を開催し、新規就農者など延べ17名が参加しました。

参加者同士の自己紹介の後、農業改良普及課の職員が講師となって、土壌肥料の基礎知識や土づくりの重要性、農薬の安全使用及びG A Pの取組について講習しました。

参加者からは、「他の人の栽培品目を知れて良かった。同じ品目を栽培している人と交流したい」「農薬については成分毎の使用回数も超過しないように改めて気を付ける」などの意見がありました。

8月下旬には農業経営と農業共済の講座を予定しており、農業改良普及課は、引き続き新規就農者の経営安定を支援していきます。

水稻の出穂期を予測しましょう！～逆川集落現地検討会を開催～



出穂までどればあかね

7月20日、土佐山田町逆川集落の水稻生産者11名を対象に現地検討会を開催しました。

農業改良普及課からは、今年の水稲の生育状況や今後の管理（水管理・病虫害防除など）、熱中症対策等の説明をした後、現地へ赴き普通期稲（ヒノヒカリ）の出穂期を予測する実演を行いました。出穂期予測を行うことで、病虫害防除や適正な穂肥のタイミング、収穫期などの把握が可能です。

参加者からは、「これが幼穂かえ、ちっちゃいね」「うちのはいつぐらいに出穂しそうかね」など様々な反応があり、自身のほ場の稲を持参する参加者も見られました。

農業改良普及課は、今後も定期的に現地検討会等を行い、集落組織の水稲生産者を支援します。

